

科目名	スポーツトレーナーの役割							年度	2026
英語科目名	Role of the sports trainer							学期	前期
学科・学年	スポーツトレーナー科 1年次	必/選	選1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	杉浦	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

【科目の目的】

(公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの起源や背景に基づき、設立趣旨・位置づけを理解します。また、具体的な役割からアスレティックトレーナーの社会的立場と貢献・倫理についても理解します。スポーツトレーナー(スポーツ指導者)の役割と主な業務内容を十分理解します。

【科目の概要】

アスレティックトレーナーとは何かを学び、コーチやスポーツドクターとの連携、組織の運営と管理などアスレティックトレーナー業務全般について学びます。

【到達目標】

- A. JSP0-ATの理解
- B. 求められるJSP0-ATの役割
- C. スポーツ指導者としての理解

【授業の注意点】

スポーツトレーナーとしてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。「現場実習」と併せて学習することで、より理解力が増すので積極的に実習に取り組む事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標 A	JSP0-ATの全体像を十分に理解し、自身のキャリアと併せて考えられる		JSP0-ATの全体像を十分に理解できた		JSP0-ATの全体像を理解できた
到達目標 B	JSP0-ATに求められるレベル等、客観的に分かり、自主的に学ぶ姿勢がある		JSP0-ATに求められるレベルが理解で、自身のマインドセットができた		JSP0-ATに求められるレベルが理解できた
到達目標 C	スポーツ指導者であると十分に理解で、自身を指導者へなるべく意識が強く持てる		スポーツ指導者であると十分に理解できた		スポーツ指導者であると理解できた
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

JSP0-AT教本

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツトレーナーの役割			年度	2026
英語表記		Role of the sports trainer			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標=修得するスキル	
1	概要	JSP0-ATの理解	1	ATとは	JSP0-ATの理解	1
2	資格制度	ATに関わる資格	1	JSP0-AT	カリキュラムの理解	1
			2	その他資格	ATに類似する資格の理解	
3	ATの歴史	JSP0-ATの歴史	1	JSP0の資格	JSP0公認スポーツ指導者制度の理解	1
			2	JSP0-ATの歴史	JSP0-ATの歴史と変貌	
			3	JSP0-ATの役割	JSP0-ATの役割	
4	諸外国のAT	AT活動	1	諸外国のAT	諸外国のATに相当する資格・業務内容の理解	1
5	ATの任務と役割	AT活動	1	活動事例	競技別活動	1
代表での活動					1	
育成年代での活動						
育成年代での活動					1	
7					その他活動	
8	コーチとの連携-協力	AT活動	1	活動事例	活動事例を基に理解する	1
9						1
10	ドクターとの連携-協力	AT活動	1	活動事例	活動事例を基に理解する	1
11						1
12	組織運営と管理	AT活動	1	活動事例	活動事例を基に理解する	1
13						1
14						1
15	ATの倫理	AT活動	1	倫理	教本での解説・事例を基に理解する	1
			2	法律		
			3	ハラスメント		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等